

安全・適正就業だより



☆☆☆☆ 事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな（全国統一スローガン） ☆☆☆☆

「コロナウイルス」の感染を防止しよう・・・

うがい・丁寧な手洗い・マスクの着用・出来るだけ人込みを避ける・不要な外出はしないなどのことを守る・営業しているからといって自粛要請のない他地域の行楽施設などへは絶対行かない。目に見えないウイルス、感染していても症状のない人も多くいます。もしかして自分が「**感染させる人**」になっている可能性もあります。何時まで続くか分からない自粛・自粛で、今まで普通にできていた事が出来ない不自由から、心身にストレスが溜まっていることと思いますが、多くの医療関係者は必死で感染者の治療にあたっています。今は一人一人が決められたことを守り、自ら感染を止めることが大切です。早く平常の生活ができるように皆で頑張りましょう。



○体温が1度上がると体の免疫力が30パーセントから40パーセント上がるそうです。そして、40度のお風呂に10分入ると体温が1度上がるそうです。普段から健康に注意してウイルスに負けない体づくりを心がけましょう・・・。 ご参考まで



アクセルとペダルを踏み違い・・・「そんなことがあるのか？」と思った事はありませんか、しかし、突然車が暴走して歩行者の中へ突入したり、あるいは道路外の建物に突っ込み、大きな人身事故になっている例が多くあります。そして、このペダルの踏み違い事故は、日本で

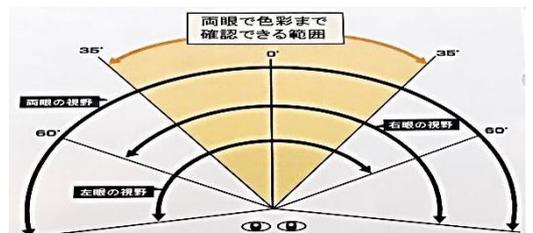
年間6千件から7千件も起きているそうです。ビックリですね!!! 今回はこのことについて考えてみましょう。

- 1 踏み違いは高齢者と若年層にも・・・
 - (1) 踏み違い事故は、高齢者に多く発生していますが、25歳以下の若年層にも発生しています。
 - (2) 高齢者は道路外の駐車場などで多く発生し、若年者は交差点などでの発進時に多く発生しています。
- 2 踏み違いを起こしやすい状況
 - (1) 特に高齢者の場合は、高齢による身体能力の低下や判断能力の低下などが原因になっていると考えられます。

- (2) これはAT車特有の事故であり、何れもシフトレバー操作前にしっかりブレーキペダルを踏んでいなかったことが原因となったと考えられます。発信や交代する時は、シフトレバーとペダルの位置をよく確認してから発進しましょう。
- 3 ペダルの踏み違いは、運転中に突然目の前に車や人が現れたり、車が運転者の想定外の動きをした場合に、慌ててブレーキを踏むべきところをアクセルを踏むことにより起こります。
- 4 踏み違い事故を防止するには・・・
- (1) 運転する前にブレーキとアクセルの位置をよく確認する。(意識確認)
 - (2) シフトレバーを操作する前に、必ずブレーキをしっかり踏んでいること。
 - (3) 発進や後退する時は、シフトレバーやブレーキペダルの位置を目視確認し例えば、「ブレーキよし」「シフトレバーの位置よし」「アクセルよし」などの声を出しながら呼称運転をすることも有効な防止策の一つだと思います。
- また、機械的に踏み違い事故を防止する「踏み違い防止装置」を取りつけることも一つの方法です。

視覚について

- 1 運転に必要な情報は視覚の中心で見る。目には視野（目を動かさずに見える範囲で、両眼で約200度）があり、そして色彩まで確認できるのは、前方を中心として左右それぞれ35度程度の範囲です。それを超えるものについては色が分かりづらくなったり、視野内であっても中心から外れると視力は落ちてきます。運転する時は、前方を注意することが一番大事ですが、時々目線を左右に動かし道路の両側を確認することも必要です。
- 2 動いている時の視力は、静止している時の視力より低下し、スピードが速くなるほどより低下します。



令和2年3月、全シ協に報告された事故より

○8月8日、駅前放置自転車指導・誘導業務の就業者が、7時から9時までの仕事を終わって、次の仕事（9時から11時）に入って約10分間経過した時地面に倒れこんだ。近くの銀行員が救急車を呼んでAEDを使用した救命処置をしてくれた後、病院に搬送されたが死亡した。死亡原因は虚血性心不全とのことだったが、暑さが死亡原因の起因になっている可能性があるとのことだった。

(男・80歳)。



○夜間管理業に就業中、施設内の駐車場で転倒し後頭部を強打した。従業員の出入りはあったが、1人の就業であり転倒時の状況を把握できる者はいなかった。本人も記憶がないとのことであった。入院後4か月後に死亡した。(男・80歳)

秩父市シルバー人材センター

秩父市野坂町1-13-14

安全適正就業委員会

電話 22-4454